学校番号	３０２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「音楽Ⅱ Tutti+ トゥッティ プラス」　（大修館書店）						
副教材等	「音楽の鑑賞資料と基礎学習」（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰで身に付けた音楽的基礎能力を土台にさらに個人の演奏能力を高め、音楽をより深く知り、味わってもらいたいです。
・音楽Ⅱの学習では、グループ演奏を中心に行います。何故その音があると音楽が豊かになっていくのかなど音楽の仕組みをより深く知り、音楽Ⅰで身に付けた音楽的能力を応用し、協力して音楽を創っていきましょう。その中で、協調性を養い、友達と音楽を創り上げていく喜びを体験してもらいたいです。
・高校の音楽の授業が、みなさんが生涯ずっと音楽を愛好し続けていくきっかけになればと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】音楽文化についての理解を深める。曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めると ともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】感性を高め、個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。
個性豊かに音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。他者と協力して音楽を創ることができる。主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	音楽を形づくっている要素を知覚し音色や音表現との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素の働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、創意工夫している。	音楽や音楽文化に関心をもち、資質・能力を歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習活動の中で主体的に身に付け、発揮しようとし、振り返って考察を深めようとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	器楽の奏法を工夫して音楽を作ろう。	音階 音階上の三和音 アンサンブルの編曲法 音楽を形づくっている要素とお互いの働きをよく理解して編曲する方法を知り、アンサンブルに生かす。 【歌唱・器楽　重奏】 大きな古時計 残酷な天使のテーゼ	a：　音楽を形づくっている要素を知覚し音色や音表現との関わりについて理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b：　音楽を形づくっている要素の働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように表現するかについて表現意図をもっている。楽曲を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、創意工夫している。 c：　音楽や音楽文化に関心をもち、資質・能力を学習活動の中で主体的に身に付け、発揮しようとし、振り返って考察を深めようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
2学期	全員曲・バンドアンサンブルに挑戦しよう	全員での合唱･合奏 自由選択曲の編曲 音楽を形づくっている要素とお互いの働きをよく理解して編曲、演奏する。 中間発表会で演奏する。	a：　音楽を形づくっている要素を知覚し音色や音表現との関わりについて理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b：　音楽を形づくっている要素の働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように表現するかについて表現意図をもっている。楽曲を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、創意工夫している。 c：　音楽や音楽文化に関心をもち、資質・能力を学習活動の中で主体的に身に付け、発揮しようとし、振り返って考察を深めようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

3学期	全員曲・バンドアンサンブルに挑戦しよう	音楽を形づくっている要素とお互いの働きをよく理解して編曲、演奏する。 発表会で演奏する。 発表会の運営を経験する。	a: 音楽を形づくっている要素を知覚し音色や音表現との関わりについて理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素の働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように表現するかについて表現意図をもっている。楽曲を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、創意工夫している。 c: 音楽や音楽文化に関心をもち、資質・能力を学習活動の中で主体的に身に付け、発揮しようとし、振り返って考察を深めようとしている。 発表会の運営に協力している。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
	箏曲に親しもう	「六段の調」	a: 音楽を形づくっている要素を知覚し音色や音表現との関わりについて理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な箏の演奏に必要な技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと甘受したこととの関わりについて考えているか。 C: 音楽や音楽文化に関心をもち、資質・能力を箏曲演奏の学習活動の中で主体的に身に付け、発揮しようとし、振り返って考察を深めようとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度